

記者提供資料
平成30年(2018年)2月13日
福祉局障害者施策担当
TEL918-5142 (内線 2147)

## 共生社会ホストタウンモデルプロジェクトを実施

共生社会ホストタウンに指定された自治体を対象に、内閣官房が募集したモデルプロジェクトに本市が採択され、すでに実施されました「ユニバーサルマナー検定」のほか、下記の2つの事業を実施します。

### 記

#### 1 市内事業者との意見交換会

- (1)日 時 平成30年2月14日(水) 13:30～15:00
- (2)場 所 アスパア明石北館8階 803 学習室
- (3)参加者 飲食業・サービス業を中心とした市内事業者の代表者 20名程度
- (4)内 容 事業者ができる障害のある人への配慮や環境整備等について

#### 2 共生社会の実現に向けた管理職研修

- (1)日 時 平成30年2月15日(木) 10:00～12:00
- (2)場 所 明石市立市民会館2階 中ホール
- (3)参加者 市管理職（室次長級及び課長級の職員）
- (4)内 容 障害の理解と必要とされるバリアフリー等の環境整備について

○1、2とも、講師は以下の2名が担当（プロフィールは別紙参照）

尾上 浩二氏（DPI 日本会議 副議長）

石田 義典氏（NPO ちゅうぶ 事務局長）

担当：福祉総務課障害者施策担当  
山田・白石  
電話 918-5142（内線 2147）

## 講師プロフィール

### 尾上 浩二（おのうえ こうじ）

1960年大阪に生まれる。子どもの時から脳性マヒの障害があり、小学校を養護学校、施設で過ごした後、普通中学・高校へ進む。1978年大阪市立大学に入学後、障害者問題のサークル活動をきっかけに、自立生活運動に取り組み始める。DPI（障害者インターナショナル）日本会議事務局長、障害者政策委員会委員等を歴任後、内閣府障害者制度改革担当室・政策企画調査官として障害者差別解消法の施行準備に関わる。

現在、DPI 日本会議副議長、内閣府障害者施策アドバイザー。

### 石田 義典（いしだ よしのり）

1959年、山口県宇部市に生まれる。大阪外国語大学の時から地域で自立生活する重度脳性マヒ者の介護に入り始める。NPOちゅうぶ（旧、中部障害者解放センター）では作業所、介護派遣、グループホーム、自立生活センター等の創設に関わる。大阪府内のネットワークである障大連（障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議）では主に大阪市および交通まちづくりの担当。

NPOちゅうぶ事務局長。